

山形県男女共同参画センター

# CHERIA チェリア

vol. **55**  
2019 Autumn

## CONTENTS

- 2-4 高木館長のナットク対談  
「もがみチェリアの会」の活躍から女性が輝くヒントを探る
- 5 チェリア塾修了生へのアンケート結果
- 6 チェリア相談室からのお知らせ
- 7 CHERIA 登録団体紹介
- 8 「チェリアフェスティバル山形2019」のご案内

# 高木館長のナットク対談



山形県男女共同参画センター  
チェリア 館長  
高木 直さん

チェリア塾修了生による  
「もがみチェリアの会」  
会員 × 館長の対談から  
女性が輝くための  
ヒントを探ります！



もがみチェリアの会 会員  
阿部 和恵さん  
(庄内町)

総会の資料にチェリア塾のチラシが入っていて、他の講座のチラシと違いとても惹きつけられ、すぐに申し込みました。以前から聞いてみたいと思っていた尾形恵子先生が講師陣にいらしたのも魅力的でした。

**高木** 女性活躍推進のためのキーパーソンや女性リーダーの育成を目指した学びの場がチェリア塾です。平成28年度から、県内4地域を巡回して開催するスタイルとなりました。一年目を基本コース、二年目を実践コースとして学んでもらうプログラムです。チェリア塾10期生となる最上地域の皆さんが、他の修了生と共に「もがみチェリアの会」を立ち上げられたことは、実に頼もしく嬉しいことです。今日はチェリア塾受講の動機や「もがみチェリアの会」設立の経緯など色々な話をお聞かせください。

## きっかけは身近なところに

**工藤** 最上地域で開催されたチェリア塾に参加されたきっかけを教えてください。

**阿部** 私は当時、山形県消費生活団体連絡協議会の庄内町事務局で仕事をしていました。その

**鈴木** 私が参加したのは、仕事で男女共同参画の担当になったことが理由でした。「業務内容を深く理解する」という義務感からでした。その頃、平日は仕事が忙しく帰宅しても家事に追われ、週末は子どもの部活動の送迎や付き添いで、自分の時間が無い毎日でした。正直「休日まで仕事の延長で講座に参加しなくちゃならない」という気持ちが強かったのですが、チェリア塾の他の参加者との出会いによって、私以上に忙しい人たちが、時間をやりくりして好きなことや地域のために学んだり活動していることに気づきました。こうした方々と知り合ったことは、仕事でもプライベートでも大きな支えになっていきます。

**中鉢** 私は家族が経営している保育園で栄養士をしています。最上総合支庁子ども家庭支援課主催の講座で当園が託児を担当したのが縁で、その講座を受講することになりました。その時の受講生や関係者でモカジョ（最上地域女性応援会議）という団体を設立することになった時、人って内面的な変化が表情や外見にこんなにも表れるものなんです。活き活きとされていてとても素敵です。



もがみチェリアの会 会員  
中鉢 絵三さん  
(新庄市)

**中鉢** 基本コースで私が学んだのは、「自分の考え方が標準で、これが当たり前と思ってしまう」という発見でした。世の中には色々な考え方の人がいると分かっていざつりでも、実際に自分と違う思考の人には、「変だ」とか「考え方が合わない」とレッテルを貼り、深い関わりを持たないようにしていたと気づきました。チェリア塾では、職業も年齢も家族構成も違う方々と深く関わり、今までなかった価値観に触れ、考え方の幅が広がったと感じました。実践コースでは、グループの代表を経験し、それまでは周囲についていく気楽な立ち位置でしたが、代表は計画の全体を見渡して上手く事業が進むように調整しなくてはならず大変でしたが、視野を広げる良いトレーニングになったと感じています。もっと別の角度からも物事を見てみたい、そうできたらいいなという気持ち芽生えました。

## もがみチェリアの会の発足

**工藤** チェリア塾修了生による「もがみチェリアの会」の発足について教えてください。

**鈴木** 平成29年の実践コースでチェリア塾は修

私も加入し、その後、モカジョメンバーで修了生の先輩方から「とても勉強になるよ」と薦めてもらったのがチェリア塾でした。仕事で関わる人が限られているので、モカジョやチェリアの受講生の皆さんと過ごす時間はとても刺激があり、個性あふれる方々との交流で、「自分らしい生き方って素敵だなあ」と、身近な目標や憧れる存在ができました。

**工藤** 平成28年当時、私は新庄市で市民活動相談員をしており、過去のチェリア塾修了生だった面々が、今度開催されるチェリア塾基本コースのプログラム作りで奮闘している場面に立ち会いました。熱意や信念を持って頑張る彼女たちの姿に、「一人でも多くの女性が、学ぶ機会と出会ってほしい」と感じ、そのチラシ制作をお手伝いすることになりました。その後、阿部さんから「このチラシが無かったら、今ここにいないかもしれない」と言ってもらえたことは、翌年、夫と共に企画制作会社を立ち上げた私にとって、とても大きな励みになったんです。私もチェリア塾参加者との出会いには本当に感謝しています。

## 仲間との出会いが一番の財産

**工藤** チェリア塾で学んだ二年間はいかがでしたか？また、受講前と後とでどんな変化がありましたか？

**阿部** その当時「なんでこの仕事をしているんだろう」と、心の内でボンヤリ考えていて、それが基本コースの講座のたびに、霧が晴れていく感じがしたんです。実践コースに進んだ時「興味を持ったことは気持ちに蓋をせず、何でもやってみよう」という考えに変わっていききました。

了しましたが、翌2月に修了生が交流する機会をつくり、団体設立について話し合いました。皆さんが賛同してくださり、もがみチェリアの会が発足したという流れです。その後、チェリアから、男女共同参画県民企業事業で採択いただき、3回連続の講座を実施しました。活動の根っこには、自分たちの困り事や抱えている問題の解決があります。ですので、今年度はメンバー同志の悩みを皆で共有する場をつくり、定期的に情報交換しながら、次の事業の計画を練っているところです。

**阿部** 私は庄内から参加していますが、参加しやすい時間や日程、環境を作ってもらっています。毎回楽しみなこともあり、移動距離もまったく気になりません。

**中鉢** 参加の仕方や頻度がそれぞれ違うということを確認合っているのも、もし予定が入ってしまっても、参加できないことを気兼ねなく言えるグループです。

**鈴木** それぞれが明確な目標を持って既に活動されている方々に、「自分のために学びたい」ということと「学びを他の人のために活かしたい」というところが共通しているメンバーです。個々が得意分野で輝き、互いに高め合っているようなイメージで今後も活動していきたいと思っています。

そして、チェリア塾の受講を縁に最上の方々との繋がることができたことは、自分の人生にとって大きな財産になったと思います。ここでの出会いがきっかけで、女性と若者の就業について学ぶナリワイカレッジという講座にも参加しました。

人生百年時代ですから、退職後の生き方や働き方も意識するようになりましたし、自分の好きなことで人に喜ばれる仕事で生きていきたいいなと、同じ志の仲間で作った「MOGAMI なりわひく芽から樹」というグループで活動することになりました。その講座で指導くださった鶴岡ナリワイプロジェクトの講座の受講生らでつくった「ナリワイ ALLIANCE」(ナリワンス)にも加わり両方を掛け持ちしているところです。こうして堂々と自分の生き方を外に発信している方々と出会えたことで、自分もそうなれたらいいなと思うようになりました。

**高木** 自分の気持ちと丁寧に向き合ったことで、阿部さんの中にしっかりと軸ができたんだと思います。同志との出会いやその方々との縁も少しずつ広がっていて、本当に素晴らしいですね。

## 「自分にもできる」という経験

**鈴木** 私もチェリアへの参加で世界が広がった



もがみチェリアの会 事務局  
鈴木 千夏さん  
(新庄市)

**工藤** 来年度、最上地域はチェリア塾基本コースの開催地となりますので、私たちは修了生としてプログラムをサポートするだけでなく、広報活動などで一人でも多くの方のきっかけを作っていきたいです。

**高木** あまり気構えず「一回だけでも参加してみようかな」という気持ちでかまいませんので、ぜひ参加してほしいですね。それには、既に経験している皆さんが背中を押してくれることが一番心強いと思います。もがみチェリアの会の皆さんには、地域のリーダーとしてこれから活躍してほしいなと思います。



《聞き手》  
もがみチェリアの会 会員  
工藤 恵子さん  
(新庄市)



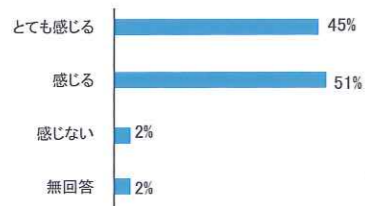
# チェリア塾修了生に聞きました！

チェリアでは、平成16年度より、女性の人材育成事業として「チェリア塾」を開催しています。修了生は既に200名を超え、団体を立ち上げたり、社会貢献したり、市町村の議員や審議委員になったりと、チェリア塾受講をきっかけとして一歩踏み出した仲間がたくさんいます。

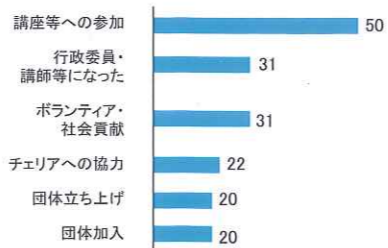
そこで、チェリア塾創設以来15年目を迎えた昨年度、チェリア塾創設時から長くご指導いただいたきた廣瀬隆人氏と齋藤由美子氏と共同で、チェリア塾で学んだ事が生活や活動にどのように影響したかのアンケート調査を実施しました。修了生100名より回答をいただきましたので、ご紹介いたします。

チェリア塾修了者の修了後の活動に関するアンケート調査(2018年)より抜粋

## ◆学んだことがその後活かしていると感じるか

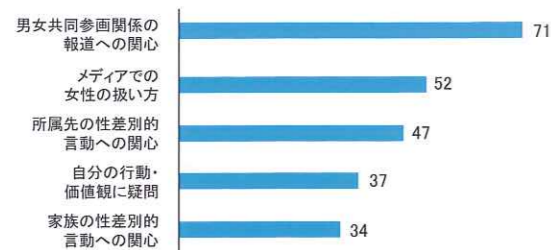


## ◆チェリア塾修了後始めたこと (人)

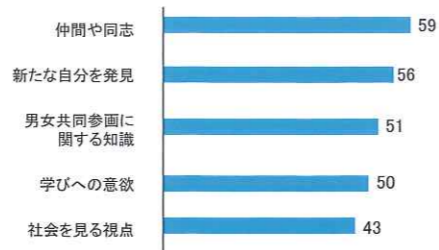


(複数回答 上位5項目)

## ◆チェリア塾修了後の自分の変化 (人)



## ◆チェリア塾に参加して得たもの (人)



(調査対象者182人、回答者数100人(回収率55%))

## 廣瀬隆人氏と齋藤由美子氏より

### 修了生のみなさんへ応援メッセージをいただきました！

廣瀬氏：学びは、遠い日の思い出ではないのです。今をどのように生きるのかという問いに対する答えなのです。その中で「ふりかえり」は最も重要です。「ふりかえり」は、時には今までの価値観や生き方を否定することになります。「このままじゃだめだ」と感じるものがなければ、行動の変容にはつながりません。涙がでるくらいの絶望感や失望感、喪失感が襲うのです。それを乗り越えたとき新しい自分に出会えるのです。それは長い喜びと幸せの時間を保障します。

すぐにわかる、簡単にわかる、納得できるものは、往々にしてふりかえりが甘くなります。学んだような気持ちになるからです。手こずるもの、難解なものにもチャレンジしないと自分に出会うことができないのです。



齋藤氏：4期生までチェリア塾にスタッフとして関わり、あのころ生で感じた塾生の力やダイナミックな変化は今とどう繋がっているのかを知りたくアンケート調査をしたいと考えました。アンケート結果から、多くの方がチェリア塾で仲間や同志を得、暮らしや活動にその学びやつながりを活かしていただき、さらに新たな課題に挑戦し続けていることが見て取れました。それは天野正子さんの「学ぶことは『わたし』の固有の価値にめざめ、どう生きるかの課題を解く力を得ること」の実践であると実感しました。チェリア塾での学びはみなさんが経験する日々の学びの中の小さな一つだと思いますが、それを熟成させ個々の状況に合わせて活かしていただいている力量に敬意を表します。

お互いにこれからも暮らしの中での違和感を大事にし、新たな視点でその解決に向かっていければいいですね。

お互いにこれからも暮らしの中での違和感を大事にし、新たな視点でその解決に向かっていければいいですね。

# 「もがみチェリアの会」の歩み

## 平成28年度 基本コース

### ステップ1

最上地域在住のチェリア塾修了生が、自らの経験をもとにプログラムづくりから行いました。従来の内容に修了生からのメッセージなども盛り込んだチェリア塾基本コースがスタートしました。

第1回 「自分の棚おろし・自分の気づき」  
第2回 「ジェンダーと人権」真のジェンダー問題とは？  
第3回 「わたしと男女共同参画」これからの生き方を考える！  
第4回 「自他尊重のコミュニケーションを学ぶ」  
①アサーティブとは何か？  
②アサーティブトレーニング  
③アサーティブトレーニング  
④アサーティブトレーニング  
⑤アサーティブトレーニング  
⑥アサーティブトレーニング  
⑦アサーティブトレーニング  
⑧アサーティブトレーニング  
⑨アサーティブトレーニング  
⑩アサーティブトレーニング



### ステップ2

## 平成29年度 実践コース

11名の修了生等が実践コースに進み、事業の企画・運営について学びました。自主企画講座として2つの講座を実施しました。

第1回 「事業企画運営の基礎」  
第2回 「講座の企画・立案」  
第3回 「講座の企画を深める」  
第4回 「ふりかえり」

自主企画講座「昨日と違う自分になろう」  
①「あそびカフェ」いいトコをさがしていいトコみつけよう！  
②自分らしい自己紹介さあ！あなたも一歩踏み出そう！  
③「ふりかえり」

実践コース終了後、修了生らの交流会を開き、「学びを深めたい」、「身に付けた知識で地域に貢献したい」という思いを確認できたため、平成30年3月、「もがみチェリアの会」としての一歩を踏み出すことになりました。



### ステップ3

## 平成30年度 男女共同参画県民企画事業

自分たちが日ごろから抱えている課題や地域のニーズにも目を向け、3回連続の講座を開催しました。「私らしい未来予想図を描こう講座」

第1回 仕事力・人生設計力アップ  
第2回 私の夢マップを描こう！  
第3回 夢が叶う手帳術を学ぼう！  
フォローアップで  
自分流の幸せをつかもう！

「仕事と家事や育児の両立が難しい」と悩む人の多くが、目の前の事に捉われすぎていて、将来像や目標を明確に描くワークを行いました。追加講座「夢カラーシジュでやりたい私を叶えよう！」男女共同参画学習会等支援事業の助成金を活用し、追加のセミナーも開催しました。



### ステップ4

## 今後の活動について

もがみチェリアの会の会員は30代から60代まで。それぞれの関心事や得意分野も幅広いのが特徴です。そのため、これまでの活動を振り返り、今後はどのような学びの場を作っていくべきか検討する研修会を定期開催しています。

第1回 6月22日  
親しくなつて久しいという会員も多し中、生い立ちから職業、チェリア受講や活動に至るまでのルーツを発表しながらそれぞれの課題を共有する研修を行いました。

第2回 9月1日  
近況報告と身近な困り事・課題出しを行いました。様々な問題提起から共通点を見出し、自他ともに幸せな終末について考えるセミナー(仮開催)の方向で議論が進みました。次回11月からは講座開催に向け、具体的な準備に取りかかるなど、地域に根差した活動が続きます。ぜひ応援ください！



山形県退職女性教職員の会 出羽路会

退職女性教職員の会出羽路会は、創設54年になりましたが男女平等の世の中にあつて女性の会とは、ちょっと変なのではと思われられるかもしれませんが。創設当時の昭和30～40年代は退職勧奨の嵐が吹いていました。本県の場合は、全国的にも締め付けがひどかったようです。それは主に女性教職員に向けられました。退職勧奨を拒んだら僻地への転勤を、夫の昇進を条件に退職を迫られました。勧奨対象になった女性は、48歳位でした。県の経済事情も大変だったのでしょうか、家族をも巻き込んで皆さんは大変難儀されたのでした。やむなく退職した女性たちは「こんな苦しい思いを後輩たちに、させてはならない。」と県教職員組合の協力のもと立ち上がりました。そして出羽路会が昭和42年、産声を上げました。その後(1981年)、先輩の皆さま方のお陰で、「48歳の壁」は撤廃されました(1992年施行)。中・高家庭科男女共学必修は1989年導入等、改善が図られてきました。(男女平等が期待されます)



これからも退女教は現職のみなさんの応援団として活動していきたいと思ひます。この歴史を後輩の会員にも語り継いでいくことも大切です。

また「男女平等」について、これまでのチェリアでの講演を聴くことに加えて、足下の家庭や地域で男女平等の考え方や問題点などを探ってみたいと思ひます。会員の意識調査をもとにして話し合い、将来会員以外の方々とも「男女平等」について話し合えるようにと考えております。

■ 会長 田中 正子 ■ 事務局 押切 チエ子

新やまがたひゅーまんらいふフォーラム(略称 ニールフォーラム)活動の歩み



1988年3月策定された山形県の女性行動計画「新やまがた女性プラン」について、行政と連動して民間サイドからも推進しようと、1992年(平成4年)7月、男女共同参画を目指し一貫して「ジェンダーフリーの視点」に立ち、みんなが幸せな社会にしようと広く県民に呼びかけ、多くの男女の参加を得て発足した。最初に具体的な行動をすすめるために、「自らの行動を見直す行動綱領」づくりに取り組み、「女性と貧困」「女性と労働」「女性と環境」「女性と暴力」「政治や行政への女性の参画」「メディアの女性像」「女性と教育」「女性と福祉」の各項目について、3年余をかけて検討し、1995年に具現化している。その行動綱領は、「地域にある現状」から「問題点」を拾い「今後の取り組み」までをまとめている。

以来、27年目の現在まで経済や社会環境の変化に対応しつつ、各年度一貫して調査、研究、話しあい等を通して報告書(標題等写真参照)を作成し、男女共同参画、男女平等の推進方、啓発、提言、要望を行ってきている。

■ 代表 玉津 菊子 ■ 事務局長 森谷 昭江  
■ お問い合わせ先 023-631-6435(代表宅) 023-681-0935(事務局長宅)

チェリア相談室からのお知らせ

「相談機関初任者研修会」を開催しました

チェリアでは、毎年、県内の各相談機関の相談業務担当者の資質向上を図るため、年2回研修会を実施しています。1回目は、相談業務の経験年数が少ない方を対象に、5月30日(木)に開催され、40名の方に参加いただきました。講師には、山形県立朝日学園副園長の今井卓生氏を迎え、相談対応の基礎と支援についてご講義いただきました。相談員の基本的態度として、相談者にはシンパシー(同情)ではなくエンパシー(共感)で接し、相談者の存在自体を無条件で受け入れること、アドバイスせねばならないという思い込みを捨てて対応すること等お話しいただきました。さらに、相談や支援の開始から終了までの流れについてや、相談者との信頼関係の築き方、情報収集時の配慮事項等多岐に亘るお話をうかがうことができました。



参加者のアンケートからは、「日々の仕事、生活を振り返りながら講話を聴くことができ、今を振り返ることができ

きとても良い時間だった」「自分の相談パターンをもう一度意識し、業務にあたりたい」等の感想があり、これからの相談業務に活かして充実した相談・支援に繋げていってほしいと思ひます。

「悩みに寄り添う講座」のご案内

今年度の「悩みに寄り添う講座」は、「家族関係」をテーマとして開催します。

1回目は離婚を取り上げます。離婚を助長するものではなく、ひとり親の方や今後離婚を考えているあるいは今まで考えたことがある方などに対して役立つ情報を提供し、今後の生き方を考える機会とするものです。

2回目は家族関係を取り上げます。夫婦関係や親子関係に起因した心の葛藤などについて学び、家族が抱える様々な問題を乗り越える方法について考え、自己を振り返る機会とするものです。

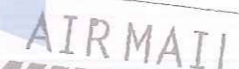
お申し込み・お問い合わせはチェリアまで

第1回 「離婚」の二文字が浮かんだ時に

開催日 令和元年11月7日(木)  
時間 10:00~12:00  
場所 山形市男女共同参画センター  
ファーラ(5階視聴覚室)  
講師 山口法律事務所  
弁護士 山口 紗世子氏  
対象者 どなたでも 30名  
備考 託児室を開設(1才以上未就学児)

第2回 家族関係(夫婦・親子)の問題と解決

開催日 令和元年12月10日(火)  
時間 10:00~12:00  
場所 山形市男女共同参画センター  
ファーラ(5階視聴覚室)  
講師 東北大学大学院教育学研究科  
教育学部 准教授 若島 孔文氏  
対象者 どなたでも 30名  
備考 託児室を開設(1才以上未就学児)



# チェリアフェスティバル山形2019

あなたと私 違いを力に変えていく

日時 9月29日(日)

会場 文翔館(山形市旅籠町3-4-51)

時間 9時~16時

参加費 無料

男女共同参画社会づくりをめざして活動している団体・グループの活動を発表するとともに、県民の皆様との交流を深める場です。

東根よさこいのオープニングアトラクションから始まり、男女共同参画社会づくり功労者等知事表彰、ワークショップ、県民交流コーナー、展示発表等のほか、お茶席コーナー、ちがいがわかる男のコーヒーコーナー、親子で楽しめる実験教室等、見て参加して楽しんでいただける内容となっています。みなさまのご来場、お待ちしております。

## チェリアフェスティバル実行委員会より



五十嵐優子  
実行委員長

少しでも男女共同参画について知っていただける機会になればと、実行委員をはじめ登録団体スタッフ一同準備を進めております。是非、ご家族・お友達と一緒に遊びに来てください。

## 講演会

要申込

演題

「自立して生きる  
ということ」

ノンフィクション作家 吉永みち子 氏



## 昨年の チェリアフェスティバルのーコマ



みんなでつくりあげていく、チェリアフェスティバル。各登録団体の実行委員が集まり、会議を重ねました。

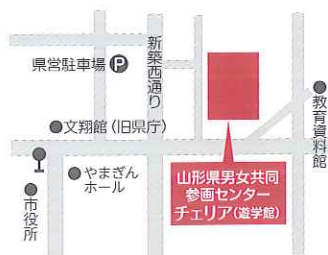
ワークショップ部門、展示部門、県民交流・にぎわいコーナー、運営部門にわかれての、熱のこもった話し合い。いろいろな意見が飛び交いました。

## 編集 後記

最近、色々と感じています。払拭するために、家族に注いだ時間を、少しでも自分時間に回し、見つめ直すことから始めてみようと思います。(直子) 今回は、高木館長のナットク対談の取材を担当し、「尊重」を基本としたコミュニケーションの大切さに改めて気付くことができました。(恵子) 今年は選挙が多く、先日も投票所に足を運びました。候補者の名前を少し緊張した中で記入する…非日常の体験ですね。(熊谷)

## 山形県男女共同参画センター チェリア

〒990-0041 山形市緑町1-2-36 (遊学館2階)  
TEL 023-629-7751 FAX 023-629-7752  
相談専用電話 023-629-8007  
URL <https://www.yamagata-cheria.org/>  
窓口受付時間 午前9時~午後5時  
休館日 毎週月曜日、毎月第3日曜日、年末年始  
令和元年9月発行  
編集発行 (公財)山形県生涯学習文化財団



## 【アクセス】

■ JR山形駅から  
バス 市役所経由路線バスで  
市役所前下車、徒歩 5分  
タクシー 約6分 徒歩 約25分

■ 自動車  
山形自動車道山形蔵王ICから約10分

県営駐車場をご利用ください。  
入退館時に駐車券を遊学館1階の総合案内へお出しください。  
ご利用時間に応じて駐車料金が割引になります。



チェリアHP